

事業所名

きっずデイゆめ

## 支援プログラム

作成日

6

年

10

月

21

日

法人（事業所）理念		「すべての人に質の高い生活提供するために」という会社理念に従って、1人1人に寄り添い「ただいま」と帰ってこれる第二の「お家」を目指しています。様々な障がいを持った子供同士が、助け合い優しい気持ちを持てる大人になってほしい。やがて来る自立に向けて、出来る事を1つでも増やせるように日々心掛けています。								
支援方針		障害児の意思及び人権を尊重し、適切な通所支援を提供。障害児が生活能力の向上の為に必要な訓練を行い、社会との交流を図ることが出来る様、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。交通公共機関を使い社会のルールや日常生活で1つでも身につけていける様支援していく。脳機能バランスやSM社会生活能力検査を取り入れて支援方針作成の参考にしています。								
営業時間		9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	生活習慣やリズムの形成・身辺自立・食事・お弁当箱を洗う・後片付け等に必要なスキルを出来る様にトレーニングします。障がいの特性に合わせて1人1人に合わせたアプローチをしていきます。								
	運動・感覚	公園や児童館に行きリレーの練習やマット運動・ボルタリングなどをしていく。毎月1個は制作をして・切る・貼る・塗る・手先の感覚を掴む								
	認知・行動	学校の宿題やタブレットのアプリを使い認識機能・言語や空間認識・注意や記憶などを伸ばしていく								
	言語コミュニケーション	お友達やスタッフとの挨拶・日常会話からコミュニケーションを身につけ、特性に合わせて絵カードや学校と同じジェスチャーなどを織り交ぜながらコミュニケーションを方法を確保。								
	人間関係社会性	日常生活や学習・集団レクリエーションや外出レクや昼食の買い物・公共交通機関・公園でのデイ以外の人との関わりを持ち、社会のルールやマナーなどを学ぶ。お友達とも交流できるように声掛けや集団レクリエーションや外出レクでコミュニケーションが取りやすいようにしている。								
家族支援		保護者様の連絡や相談などを送迎時や連絡帳などで確認し、訪問面談や電話相談などで情報共有して対応する。				移行支援				
地域支援・地域連携		町役場や地域の人達のお店にハロウィンの仮装をしてお菓子を貰いに行き地域の方々とのコミュニケーションを取っている。				職員の質の向上		内部研修：新入職員研修・定期研修研修(コンプライアンス、身体拘束、ハラスメント、感染症予防、BCP、接遇、虐待防止、人権等) 外部研修：あり。資格取得制度も一部あり。		
主な行事等		越谷・松伏放課後等デイサービス連絡会に加入し、開催される他事業所との運動会への参加、・夏まつり・クリスマス会・ハロウィン（町役場や地域のお店での仮装し合い、お菓子をもらう、その他季節の行事、他事業所との合同で野菜の栽培と収穫・工場見学、公共交通機関を使つての外出、等								